

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学演習Ⅲ(ケアとキュアの統合)	1	後期	2	演習 60時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、酒井武志、小島朗、古賀雄二、飯塚裕美			
授業概要	クリティカル状況下にある対象者の回復に向けた、ケアとキュアが融合した介入及び家族に対する援助的介入を学び、実践力を養う。			
到達目標	1. クリティカル状況下にある対象者の早期回復に向けた看護援助を検討することができる。 2. 高度実践看護師としての役割について理解し、今後の高度実践看護師としての自己の役割について考察する。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	クリティカルケア領域における高度実践看護師の役割	松本	
	3-4	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：援助関係論、家族看護論	松本	
	5-6	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：呼吸不全	松本	
	7-8	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：循環不全	松本	
	9-10	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：中枢神経障害	小島	
	11-12	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：侵襲・重症感染症	酒井	
	13-14	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：PICS/ICU-AWの予防と看護ケア	酒井	
	15-16	クリティカルな状況下にある対象者と家族のアセスメントと高度実践看護：せん妄	古賀	
	17-18	クリティカルケア領域における医療と管理	飯塚	
	19-20	他職種連携とチーム医療：NST・RCT・緩和ケア21-22 クリティカルケア領域におけるチーム・組織診断	松本	
	21-22	クリティカル領域におけるチーム・組織診断	松本	
	23-24	フィールドワーク(チーム及び組織診断)とプレゼンテーション	松本・中島・路	
	25-26	クリティカルケア領域におけるスタッフ教育	松本	
	27-28	フィールドワーク(教育計画)とプレゼンテーション	松本・中島・路	
	29-30	第1-28回で学んだことから、自己の今後の役割について考察する	松本・中島・路	
教科書	特に指定しない。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ann B. Hamric/中村美鈴ほか監修(2017)：高度実践看護統合的アプローチ、ヘルス出版</li> <li>・ Edgar H. Schein/稲葉元吉訳(2018)：Process Consultation Revisited Buiding the Helping Relationship/プロセスコンサルテーション第16版、白桃書房</li> <li>・ Avedis Donabedian/東尚弘訳(2007)：医療の質の定義と評価方法、認定NPO法人健康医療評価機構</li> <li>・ Paul L. Marino/稲田英一監修(2015)：the ICU Book 第4版、メディカル・サイエンスインターナショナル</li> <li>・ 清水敬樹(2019)：改正版 ICU 実践ハンドブック病態ごとの治療・管理の進め方、羊土社他、適宜紹介</li> </ul>			
評価方法・基準	討議への参加度(60%)、レポート(40%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習：事前に提示された資料を読んでくること。 事後学習：疑問点を整理し、関連した文献等を調べ、理解を深めること。			
備考	特になし			